

(行政報告)

地域部活動推進事業について

学校教育部

教育委員会では、市内中学校の生徒にとって望ましい持続可能な部活動の実現と学校教職員の働き方改革の推進に向けて、埼玉県から地域部活動推進事業の委託を受け、部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を開始いたしました。

この事業の実施に当たりましては、令和3年6月に埼玉県と委託契約を締結するとともに、同年7月から3回にわたって開催された白岡市地域部活動企画委員会により、9月に「白岡市における地域部活動の今後の在り方について（第1次提言）」が取りまとめられたほか、事業の実施団体の選定に係る公募要領等が検討されました。第1次提言では、地域部活動への移行に当たっては、全ての子どもたちに不利益が生じない制度にしていく必要があることや地域部活動への移行を踏まえた部活動ガイドラインを改訂する必要があることなどについて意見がまとめられました。

事業者につきまして、令和3年9月に公募したところ、2団体から応募があり、10月6日に開催した地域部活動推進事業委託先選定委員会での審査の結果、市内小中学校のPTA会長経験者等を中心とした団体である「ASC（アスク）」を選定し、10月25日に業務委託契約を締結したところでございます。

この契約に基づきまして、令和3年11月から、ASC（アスク）、教育委員会及び各中学校が連携を図りながら、部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を進めているところでございます。

本事業を通じて、本市におけるより良い部活動の在り方について検証してまいりたいと存じます。

今後の状況につきましては、改めて御報告させていただく予定でございます。